

部門別演技規定

<指 針>

1. すべてのチームにおいて、大会期間中、適正な引率者・監督・コーチが付き添うこと
2. すべての参加者は、イベントを通し、スポーツマンシップにのっとり行動すること
各チームの引率者・監督・コーチは、父兄及びその他関係者がしかるべく行動をするよう監督する
スポーツマンシップに著しく反する行為は、参加資格剥奪の対象となる
3. 引率・監督・コーチは、選手が負傷した場合、迅速に対応できるよう対策を立てておくこと

【上記はUSAアメリカ本部及びUSASFの方針に基づいております】

◆Cheerleading部門

項目	LEVEL 3	LEVEL 4	Jr. LEVEL 5 LEVEL 5	LEVEL 6
通過基準点	80点			
人数	3人以上 24人以下			
コスチューム	チアユニフォーム			
手 具	Pom・ボード・メガホンなど応援に適したものであること			
履 物	競技者同士のダメージや怪我への安全性を考慮したシューズ(衝撃吸収力・足へのフィット感等)			
構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・チアリーディングの要素(アームモーション、スタッツ、タンブリング、コール、ダンス、ジャンプ等)を組み入れた構成とすること ・スタッツは演技時間の3分の1以上入れること ・コールは必ず行うこと ・コール部分に音楽使用も可 			
特 徴	どれだけチアリーダーとしての役割を果たしているかが重視される			
USASF「WORLDS」 推薦対象部門	-	-	Jr.LEVEL5 のみ★	★
	USASF『WORLDS』のCheerleading部門は「ALL MUSIC」の構成が望ましい			
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽や振り付けは、全ての観客のために適切かつエンターテイメント性に富んでいなければならない ・セーフティガイドラインの詳細は別紙参照 			

◆Spiritleading部門

項目	小学生以下編成	中学生以下編成	自由編成
通過基準点	80点		
人数	3人以上 (上限はなし)		
コスチューム	自由とするが、年齢に相応で、家族連れの観客にも適切な衣装とメイクを心がけること		
アクセサリ	衣装としてのアクセサリは認める		
手 具	自由とする (大道具を使用する際に事前に事務局まで連絡)		
履 物	自由とする(靴下のみは禁止) ※床を傷つける危険性があるものは避けること(ハイヒールなど)		
特 徴	ハーフタイムショーのようにショーアップされたスポーツエンターテイメント性のある内容であること		
タンブリング	「タンブリングについて」参照		
USASF「WORLDS」 推薦対象部門	-		
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽や振り付けは、全ての観客のために適切かつエンターテイメント性に富んでいなければならない ・テクニックは入れなくてもよい 		

◆Songleading

部門名	Pom部門			Pom/Dance部門
項目	小学生以下編成 中学生以下編成	高校生編成	大学・一般編成	高校生編成
通過基準点	80点	85点	80点	85点
人数	3人以上（上限はなし） Small・・・12人以下 Large・・・13人以上		3人以上（上限はなし） ※エントリー数によってSmall・Largeに分ける可能性あり	
コスチューム	自由とする	チアユニフォーム ・学校名・チーム名が記載 ・素材等は問わない	自由とする	自由とする (チアユニフォーム不可)
アクセサリ	衣装としてのアクセサリは認める			
手具	Pomのみ使用可			
履物	足裏全部覆っている物を 着用（靴下のみは禁止）	スニーカータイプを着用 (ジャズシューズ・バレエシューズ不可)	自由とする (靴下のみは禁止)	
構成	・演技時間の半分はPomを 使用すること ・ストレートアームモーションを 中心とした構成とすること	・32カウント以上Pomを置いてはいけない ・キックライン(メンバーが1列に並んで演技)を 16カウント以上入れること ・ストレートアームモーションを中心とし、エッセンス的に ジャンプ・リブ等を組み入れた構成とすること	・キックラインを16カウント 以上入れること ・演技の半分はPomを 持ったストレートアームモーション の構成とすること	
特徴	・スポーツを応援する場面に合った表現や内容が求められる ・同調性と視覚的効果、美しく正確なアームモーション、ポンポンを使用した 技術、そしてダンスの技術的要素を取り入れること			曲に合わせたダンスワークや 表現が求められる
タンブリング	前転・後転・側転・ ショルダーロール可	前転・後転・ショルダーロール可		
USASF「WORLDS」 推薦対象部門	-	-	★	-
その他	音楽や振り付けは、全ての観客のために適切かつエンターテイメント性に富んでいなければならない			

◆Dance/Drill部門 ・ Hip Hop部門

部門名	Dance/Drill部門	Hip Hop部門
項目	高校生編成	自由編成
通過基準点	80点	
人数	3人以上（上限はなし）	
コスチューム	自由とするが、年齢に相応で、家族連れの観客にも適切な衣装とメイクを心がけること	
アクセサリ	衣装としてのアクセサリは認める	
手具	自由とする (但し、Pomの使用不可)	
履物	自由とする(靴下のみは禁止) ※床を傷つける危険性があるものは避けること(ハイヒールなど)	
構成	ミリタリー・メジャーレット・ダンス・フラッグ・プロップ のいずれかであること	Hip Hop・Funk・ロッキングなどのストリート スタイルとする(ブレイクの要素を含むことも可)
特徴	ドリルチームとしての規律を持ち、チームカラーを 活かしての同調性・強調性・統一性が求められる	正確性・スタイル・独創性・ボディバランス・ボディコントロール・ リズム・統一感と楽曲の演出を強調したストリートスタイル を競う
タンブリング	「タンブリングについて」参照	「タンブリングについて」参照 ※肩車までの高さのスタンプのみ可 (ベース1人に対して2人以上の組み合わせは禁止)
USASF「WORLDS」 推薦対象部門	-	★ 但し、メンバー全員が18歳(高校生以上)の場合に限る
その他	音楽や振り付けは、全ての観客のために適切かつエンターテイメント性に富んでいなければならない	

◆Free Style部門

項目	大学編成	一般編成
通過基準点	80点	
人数	3人以上（上限はなし）	
コスチューム	自由とするが、年齢に相応で、家族連れの観客にも適切な衣装とメイクを心がけること	
アクセサリ	衣装としてのアクセサリは認める	
手具	自由とする （但し、Pomの使用不可）	
履物	自由とする（靴下のみは禁止） ※床を傷つける危険性があるものは避けること（ハイヒールなど）	
構成	JAZZ・リリカル・モダンなど、チームカラーを生かし「踊る」ということを自由に表現すること	
特徴	各ダンススタイル・技術の正確性・独創性・コンビネーション・しなやかさ・バランスカ・姿勢・チームの統一感を競う	
タンブリングと技	前転・後転・ショルダーロールのみ可	
USASF「WORLDS」 推薦対象部門	★	★ 但し、メンバー全員が18歳（高校生以上）の場合に限る
その他	音楽や振り付けは、全ての観客のために適切かつエンターテイメント性に富んでいなければならない	

◇タンブリングについて◇

このルールは、Spritleading部門・Dance/Drill部門・Hip Hop部門に適用される

タンブリングは、常に演技フロアに片手・片足・または体の一部が接している状態のみで行うこと。すべて補助なしで行えること。腰が頭を超える体勢の回転を含む空中技は禁止。単発、コンビネーションのいずれも可。

有効技		禁止技	
前転・後転	ショルダーロール	飛び込み前転	ロンダード
側転・片手側転	前方・後方転回 （走り込みなし）	側方宙返り	前方・後方空中転回（バック転）
倒立		ひねり技	前方・後方宙返り
立ちブリッジ	※バック転は不可		
ヘッドスタンド			

判断しかねるものについては、事務局までお問い合わせください

※チアスタutz・リフト・トスについては、Cheerleading部門を除く全ての部門で禁止
（スタutzについては、Hip Hop部門のみ一部実施可）

部門毎のスコアシート及び審判用紙は、HPエントリー団体専用ページに掲載します